

ファイナンス・セミナー 2018-3

入場無料

申込み不要

タイトル:CoVaR によるシステミック・リスク計測
～確率的コピュラによる比較分析～

2018年10月25日(木曜日) 18:30 ~ 19:30

明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン9階309E 教室

講演内容:2007~2008 年における金融危機では、損失の拡大が金融システム全体に波及したことによりシステミック・リスクが顕在化し、現在、様々な方法でシステミック・リスクに関する解析が進められている。

本研究では、システミック・リスクにおける計測手法のうち、FRB の Adrian 及び Brunnermeier によって提案された CoVaR 及びその派生指標である Δ CoVaR に着目し、その後研究が進められた各種論文の課題を踏まえ、課題解決を図っている。

具体的には、既存の CoVaR の定義・性質を整理し、適切にリスクを評価できるような水準値を設定。さらに、金融危機時におけるシステミック・リスク顕在化前後の依存構造変化について、確率的コピュラを用いた方法を提案し、日本のデータを用いて分析を行っている。この分析では、周辺分布の分散を時間変化させる動的なモデルにより CoVaR 及び Δ CoVaR を評価しているほか、確率的コピュラが DCC-GARCH や TVP コピュラといった既存の研究手法と比較して依存関係を柔軟に評価できていることを、周辺分布の分散を固定させる静的なモデルを用いて示している。

講師:三菱 UFJ 銀行 融資企画部

クレジットリスクマネジメント室 CPM企画Gr

監物 輝夫

講師略歴:一橋大学大学院国際企業戦略研究科卒(金融工学を専攻)。

2010 年に金融庁に入庁後、バーゼル3の策定や検査企画の立案に携わり、2017 年、現三菱 UFJ 銀行に入行。



●お問い合わせ先:明治大学専門職大学院事務室

TEL 03(3296)2397

E-mail guroken@mics.meiji.ac.jp

私立大学研究ブランディング事業

Math Everywhere
数理科学する 明治大学